

クラス会報告

(平成 21 年～平成 16 年)

M35 クラス会

88歳の上野先生をはじめ、参加者は我が家に帰ったような気楽で懐かしさを堪能しつつ、時を過ごしました。
次回は2年後の同じ時期を考えています。その時には又お世話になると思いますが、よろしくお願ひします。

幹事 清木一男 (出席者：清木他 16名)



C39 遠隔地同窓会ルポ

平成21年9月14日から15日の1泊2日、琵琶湖湖畔の大津KKRホテルにC39同窓生13名が集合して、遠隔地同窓会を開きました。下松地区での開催と遠隔地での交互開催をしていますが、2年ぶりの同窓会で、約半数の人は湖西の堅田でのゴルフコンペにも参加しました。次回の下松地区での同窓会のテーマと幹事も決定され、今後のクラス会の継続活動に希望が湧く行事になりました。

(幹事: 武居庄治報告)



下松工業C39同窓会(琵琶湖湖畔KKRホテル h21. 9. 14)

M14 第25回クラス会（三奈木君を囲む会）

日 時：平成21年8月27日（木）

場 所：光市

出席者：竇迫一郎、山本尚布、三奈木秋二、中村雄三郎、中井 資（順不同、敬称略）の5名
（下松工業学校 昭和14年3月卒業）



C34 同窓会

平成21年5月16日(土)笠戸島ハイツにおいて同窓会を開催した。卒業してから50年目の節目ということで地元での開催となった。当日は午後から、(社)下松工業会の平成21年度定時総会が行われた。同期M34の田村鞆利氏(元防衛省・陸将・西部方面総監)をお迎えして「防衛問題を考える」の講演会もあり、数名の者は、総会、C34同窓会と掛け持ちでの出席をした。

遠くからは前泊してゆっくりした者もあり、30分前には、全員が集合。

記念撮影。

市川五郎先生をお迎えして、師の音頭の乾杯で始まった。下工での長年の勤務での裏話に花が咲き、時の経つのも忘れていた。

C34は、数年前から各地持ち回りで毎年開催しており、今回の参加者は25名である。昨年の三重県での開催から7ヶ月ぶりである。いつも9割の顔ぶれが固定している。故郷での開催でもあり、もっと地元諸氏の出席に努力すべきであったかとも思う。

翌日は、希望者7名で周南市大津島の間人魚雷回転発射訓練基地跡を見学した。平和の大切さ、命の尊さを改めて認識した。

(寄稿：矢野 定)



下松工業高等学校 C-34卒 同窓会 平成21年5月16日 於:笠戸島ハイツ

M34 同窓会

次回の同窓会開催を決定しました。日時、場所は決定次第連絡します。幹事は、佐田賢二、国廣隆紀、廣永龍男、中山信夫、黒田義則の各氏が担当します。



下松工業高等学校 昭和34年機械科卒 同窓会 平成21年5月16日 於 下松工業会館

M42会 還暦同窓会



全体風景（開宴前）



全員で（1）



全員で（2）



石丸代表幹事挨拶



長田事務局長乾杯





M27会 新年会

M27会

機械科27年卒1. 2. 3組 平成15年1月発足 会員21名 (新加入者歓迎)

代表幹事：清水英雄 幹事：相本晴信、清水誠、林一成、実近寛 事務局長：弘実法造

集会：(年2回) 暑気払い、新年会



社団法人下松工業会 M27会 新年会 H.21.1.26 於;下松工業会館

E H 1 (昭和63年度電気科卒) 同窓会報告

去る1月3日、卒業してちょうど20年の節目の年に、卒業して初めての同窓会を開催しました。当日は両組の担任をされた岡村先生、松井先生にもご臨席を賜り、お元気そうな姿を拝見でき、生徒一同大変嬉しく思いました。

懇親の場では、酒を酌み交わしながらそこかしこに歓談の花が咲き、旧交を温めることができました。余興として学生時代の写真をプロジェクターで紹介したり、文化祭のビデオを上映したりしましたが、学生服を着た自分たちの姿に、笑いが飛び交う場面もありました。

今回は都合がつかず、残念ながら出席できなかった方もおりますが、これを機に下工同窓生の絆を深めていきたいと思えます。最後に、今回の同窓会開催にあたりまして、下工会事務局から多大なお力添えを頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

幹事一同

全員集合「20年ぶりにこんにちは！」



肩を組んで校歌を熱唱



C 3 8 クラス会

去る11月16日、笠戸島ハイツに於いて、昭和38年工業化学科卒業生の同窓会を1泊2日で23名の参加のもとで実施した。

懐かしい面々に久し振りに再会し、積もる話に盛上がり宴会も瞬間に過ぎ、その後も夜遅くまで話も尽きることなく楽しい時間を過ごすことができ、今も現役で頑張っている者、地域でボランティア活動に精出している者、自分の趣味で毎日楽しんでいる者、また、野良仕事に励んでいる者と各自思い思いに生活をエンジョイしている近況報告に、皆、元気を貰ったような同窓会であった。3年後、元気で再会を楽しみに各々家路についた。

世話人：村岡教治



下松工業高等学校 昭和38年度卒業生 平成20年11月16日 於：笠戸島ハイツ

関東地区 M35 ミニクラス会

関東地区に住むM35同窓生がミニクラス会（会員数：16名）を開催しました。

今年は、馬川静一郎氏が幹事で、千葉市 海鮮の国「波奈本店」で開催し、来年は海野征夫氏が幹事で再会することになりました。



昭和 32 年機械科一組卒 クラス会報告

「人生七十古来稀なり」古稀の賀寿を迎え、9月24日（水）国民宿舎大城に18名の昔の学徒が、卒業後半世紀を記念して集まり、大いに旧交をあたためた。

今回のクラス会では全員が色紙に祝詞署名を行い、記念に全員が1枚ずつ持ち帰ることとした。全員の3分間スピーチの後、日本百名山完登を見事に達成した柏木孝則君の報告会が1時間半にわたって行われた。

庄巻は想像を絶する困難と戦いながら、百名山に挑戦する姿が見事にスクリーン上に映し出され、急峻な山岳風景、岩場の登攀、頂上に立つ喜び、美しく咲いた各種の高山植物、そして満天の星空、上映の1時間30分はまさに没我の境地にいる心地であった。

今回のクラス会は11時開始、終了は17時30分で、6時間30分にわたる長丁場であった。その間、杯を汲み交わし、おおいに歓談し、下工に学んだ縁を喜び合った。

最後は校歌斉唱、閉会の詞、1本締め、再開を誓って名残を惜しみながら解散した。

（林 通生記）



E 4 9 クラス会（兼ゴルフ大会）

ゴルフには自信のある?? 10名が朝から中須ゴルフ倶楽部でゴルフを楽しんだ。珍プレイで笑いがあり、ナイスショットで歓声も上がり、スコアは二の次で非常に楽しい日中だった。

また、夕方から下松駅北口の「割烹 升吉」で、9名が合流し 19名の懇親会になった。卒業して34年間の近況報告では、各人なりに苦労してきた話が多く聞けた。その後も夜遅くまで飲み明かして次回の再会を約束して解散となった。

文責 内山和美



下松工業高等学校 47 年度卒業生 同窓会を終えて

平成 20 年 8 月 16 日土曜日、下松工業会館にて昭和 47 年度卒業生の同窓会を開催。機械科、工業化学科、電気科合同での初めての同窓会であり、どの程度の参加者があるか心配されたが、機械科 12 人、工業化学科 14 名、電気科 12 名の総勢 38 名の参加があった。

36 年前にタイムトラベルしたかのように、一気に高校時代に逆戻り、時を忘れ懐かしい話に華が咲いた。2 時間の宴は一瞬にして終わってしまったが、又の再会を約束し、同窓会は終わった。出来れば 4 年に一度、同窓会を開催したい。 幹事一同





M3 6クラス会



M35クラス会



M27会（昭和27年機械科卒）

代表幹事 清水英雄

終戦の翌年、昭和21年入学し、途中で高等学校新編成により新入学がなく、最下級生を4年間過ごし、併中・高校と6年間在学して、昭和27年卒で、会の名称を「M27会」としている。

★平成5年8月 還暦クラス会 ホテル「幾久屋」 46名出席

★平成15年5月 古希クラス会 ホテル「サンルート」 33名出席

母校の見学と恩師をお招きして、開催した。

周南を中心に写真の21名が毎年2回、下松工業会館で「暑気払い」、「新春を寿う会」を開催して、親睦を深めている。同級生の皆さん、気軽に参加して下さい。大歓迎です。ご連絡は、下記の幹事まで。案内を送ります。

下松工業会事務局 0833-43-1336 幹事 林 一成 椎木清美



M27会 新年会

H20. 1. 29. 於 下松工業会館

C20クラス会

平成19年11月6日、湯野温泉「紅葉館」一泊、参加者9名（総勢18名）でクラス会を催した。

62年ぶりに参加した人もいて、しばし歓談のひと時がもてた。

母校創立90周年（平成23年：2011年）の時にあわせて、次回クラス会を予定し、お互いに健康で頑張り再会を約して散会した。

C20クラス幹事 森本 宏



昔若人（今も若い？）のクラス会

平成19年9月28日、徳山駅西の西条柿というところで、下工（M23）のクラス会を行った。

当日は、9月末というのに真夏を思わせるような暑い日であったが、22名が参加してくれ、遠くは千葉県や、奈良県からの参加者もあった。14名の欠席者があったが、仕事の都合（現役で働いている）や、少し体調がよくないというものである。

卒業して59年、喜寿を迎える人、傘寿を迎える人様々だが、戦中戦後の苦しい時代を生き抜いてきただけになかなか遅い。全員無病息災とはいかないが、出席した人は皆元気で昔話に花が咲き、また、一人ひとりの近況報告ではアルコールが少し入ったせいもあり、笑いがあり、また野次もありで大変盛り上がった二時間半の会合であった。

最後は、全員で声高らかに校歌を合唱し、来年の再会を約して幕引きとなる。

（文：山田信義）



S23年・S24年卒 下松工業高等学校 同級会 2007年9月28日 於)西条柿

C39 クラス会 (平成19年10月24日)

午後2時ころから工業会館3Fに集合。3時、16名がタクシーに分乗し母校へ。

母校では下村教頭及び平本事務長の出迎えを受ける。玄関前の庭(築山)を背景に記念写真撮影。一同、応接室に通していただく。お茶の接待を受けながら、校長先生は出張中ということで、教頭先生より母校の近況について説明を受ける。その途中、一名が加わる。質疑応答もありなごやかな30分。その後、後輩の岸田先生の案内で化学の実習室他体育館、武道場を見せていただく。グラウンドでは野球部、ハンドボール部、サッカー部などが練習に励んでいた。4時15分、教頭先生、事務長、岸田先生のお見送りを受け母校を後にする。

帰りは昔の通学路(大海町→踏切→西市→中島町→中市→元町→下松駅)を全員で歩く。

懇親会の会場は下松ステーションホテル。4時40分、すでに16名が待っている。合わせて33名。6時までの予定で先ず近況報告。1人2分の持ち時間では足りない。なんとか6時に終わる。次回の開催地(関西地区)及び幹事団(武居庄、大田、篠本、藤本)を決める。そして、全員で記念写真。遅れて3名やってくるが、何とか宴会に間に合った。総勢36名。6時30分、原田浩君の開会のあいさつに続き、岡本保夫君による乾杯。

飲むわ、飲むわ、飲むわ。気がいたら8時30分。時間だから終わってくれという。2時間ではまだまだ話し足りん、飲み足りん。が、仕方がないので先ず応援団長藤田君(下松)のリードにより校歌斉唱とエール、そして、篠本君(大阪)の1本締めで終了する。まだまだ飲み足りない。話し足りないというので2次会へ。20数名が押しかけ貸し切りとなる。飲んだ、飲んだ、広島や防府方面は間に合ったかしら、少し気にしつつ、泊り組と地元は午前様。宿泊は7名。

翌25日はゴルフ。12名が参加。白須那カントリークラブ。優勝は守田秀昭君。

次回は平成21年、関西で開催する。(河村 記)



下松工業昭和39年工業化学科卒 平成19年10月24日



卒業50年目 志賀島に集う（工業化学科昭和32年卒業）

「やー久しぶり元気か」「白くなったなー」「自分も薄くなったのに・・・」等々の会話が弾み、握手・肩を叩きながらまずはお互いの息災を称えあう。平成19年10月15日、16時の約束時間に一人の遅参者もなく参加者全員が三々五々集合した。鹿児島本線千早駅（平成15年開業）平日で乗降者の少ない広々とした構内での一コマである。

昨年10月、関東近郊在住者が集まり、中華街で食事をした。話題がクラス会のこととなり、還暦時以降集まっていない、卒業50周年目を迎え、クラス会をしようではないかとの提案があり、嶋田幹事を中心に福岡近辺での開催をサウンディングすることとなった。年賀状を兼ねてのアンケートに始まり、希望の調査、出欠の確認を経て今回の開催となった。

我々のクラス仲間38名のうち、病気療養中、家族の介護あるいは今だ現役等々の事情により直近で参加できなくなった者が意外と多くなり、結局参加者は9名であった。

駅前より出迎いのバスに乗り、海の中道を通り、宿泊先の「休暇村 志賀島（福岡市）」へと向かう。チェックイン後は早速浴衣に着かえて玄海島（福岡県西方沖地震の被害地）の向こうに沈む夕日を眺めながら、露天風呂で疲れをいやす。

懇親会では、休暇村心づくしの料理に舌づつみをうつ。みんな健啖である。お酒のまわりとともに饒舌ぶりを発揮、卒業アルバムを見ながら在校時代（35周年の久原房之助翁の胸像除幕式、ガス発生装置の完成等があった）の恩師のこと、授業のこと、仲間のこと等々、また半世紀を過ぎて時効となったであろう事柄などセピア色の思い出を大いに語った。筆舌に尽くしきれぬほどに盛り上がった。

今回、ご多忙のためにご出席いただけなかった時政、市川両先生の手紙、資料の披露があり、ひと時を思い出に浸った。また、現役時代の苦労話、近況の話等々で瞬間に時間が経過、二次会に持ち越す。部屋での二次会もさすが「友愛正義」の校風のもと乱世を強く生き抜いてきた面々、深夜まで経験談、エピソードを語り明かした。腹蔵なく、主義主張の壁もなく胸襟を開いて語り合えるのはクラスメートであろうと思う。これからも大切にしていきたいものである。翌朝も好天に恵まれ、マイクロバスで半日の市内観光に出かける。金印公園を車窓から眺めながら、Yahoo ドーム、福岡タワーのある臨海地区を一巡したのち、山笠で有名な櫛田神社、引き続き学問の神様太宰府天満宮（少し遅すぎたか）に参拝した。引き続き近くの九州博物館へ。本願寺の秘宝展を見る者、またはパイオン遺跡の紹介ビデオを觀賞して格調高い？ 時間調整。参道で名物の「梅が枝餅」をほうばり腹ごしらえ、半日の観光を終え博多駅へ。博多駅にて家族へのお土産を購入、次回の再会を約して銘々帰路についた。何年たっても母校への思いは変わらない。「甲子園のスタンドで校歌を歌おう」との希望があったことも申し添えておく。

（吉村 記）



C50 騒動会 (クラス会)

槌尾様 お久しぶりで御座います。

あれから2年経ちました。名簿を購入が同窓会のきっかけになったことは間違いのない事実です。

さて、同窓会のフォトを送ります。今回は23名と多少こじんまりした会だったのですが後4年もすれば30人位にはなるのかなって感じがします。(お気楽野郎で・・・笑)

フォトは煙(煙草)で霞んでますし、私は映ってませんがもし公開するならこれをお願いします。(児山信夫)



C 2 0 クラス会

工業会館、会館以来約30年以上の長い間、私どものクラス会は例年母校創立記念日、直近の土曜日に行くことにしていますが、今年は珍しく創立記念日当日の10月15日（土）に開催することができました。

因る年波には克てませんで、本年は体調不良・不安のために直前の不参加もありまして、参加者は近年になく少なく僅か7名でした。例年、この会では私から母校・同窓会の近況について報告した後、お互いの近況や健康法について話し合っていますが、前日が鉄道記念日でありました関係で「下工弁慶号」の話にも思いのほか花が咲き、少人数ではありましたがかなり盛会でした。

一時期、会場を工業会館に固定しないで、幹事を下松・光以東・徳山以西3地区で持ちまわって、会場を変更してはの意見もあって数年間実施したこともありましたが、矢張り同窓生の館（工業会館）が最もよいので、ここ最近の15年間は続いて会館をクラス会に利用しています。お互いに健康に留意し元気な姿で年1回集まって励ましあうクラス会、今後もできるだけ続けたいものです。

（市川 記）



平成17年度下松工業工化20回クラス会 平成17年10月15日 於 下松工業会館

C39 還暦クラス会 / i n 岐阜

昭和39年・工業化学科卒のクラス会は平成12年より5年に1回行うことにしている。今年は、還暦を迎える節目の年として、岐阜県在住の岡本保夫君が幹事を務め、2日間にわたるクラス会を開催した。

会場となった「ルネッサンス岐阜ホテル」は岐阜市のやや北部にあり、金華山や岐阜城を近くに仰ぎ、すぐ側には清流長良川が悠々と流れていた。

10月20日（木）16：00より集合。男子16名、女子1名、うち3名は夫人同伴の合計20名である。紅一点は、四日市から参加の高田尚美さん。

17時より開宴。記念撮影、岡本幹事、幹事長原田浩君の挨拶。幹事守田秀昭君の発声による乾杯。引き続き河村が工業会や母校の現状について報告をした。

41年ぶり或は5年ぶりの再会に話は弾む。20時に一旦宴会は終了したが、ホテル側の配慮により新たに会場を設営していただき、カラオケを交えての二次会となった。歌におしゃべりに時の経つのも忘れたひと時であった。

5年毎のクラス会は2年毎に開催することとし、次回の平成19年は下松市で開催することにした。

翌日（10/21）はゴルフ（7名）、観光（6名）、そして帰宅組みに別れ、9時に2年半後の再会を約束して散会した。

ゴルフは岐阜本巣C.C. 雄大なフラットなコース（パー：72）で、アップダウンの激しい難コースであったが、初めてのコースをものともせず、流石は下工健児、守田秀昭君の79を筆頭に全員が2桁で廻るという快挙。

この2日間、還暦という2文字は余計だが、この上ない幸せなひと時に浸ることができた。これも偏に幹事岡本保夫君のお陰と、一同以って万謝。

